

## ◆ 重点普及課題

# 沖縄ミーバイの販売促進 (養殖ハタ類の国際的産地形成推進事業)

水産業改良普及センター 大嶋洋行

### 1 目的

「沖縄ミーバイ」(ヤイトハタ)の生産量は平成23年度で78t、1.14億円であるが、県では現在、陸上養殖技術の開発に取り組んでおり生産量の拡大が期待されている。

このため、増産に対応できる販路拡大を目的として生産者と協力した販促活動を実施する。

なお、販促業務の実施については一部外部委託(株式会社碧コンサルタント)により実施した。

### 2 取り組みの内容

#### ① 沖縄県ミーバイ生産者販売促進協議会の設立支援

生産者が協力して販売促進に取り組むために生産者の組織化を支援し、平成24年6月24日に沖縄県ミーバイ生産者販売促進協議会の発足し、県農林水産部長へ報告、マスコミ取材を受けた。



農林水産部長への生産者協議会の設立報告

#### ② 情報発信(委託)

沖縄ミーバイPRのためWebサイトの開設、

facebookの立ち上げ、ラジオ番組ポッドキャスト配信を実施し、その成果としてfacebook経由で県外の旅館との取引が発生した他、問い合わせが増加した。

#### ③ 流通調査(委託)

沖縄ミーバイの流通実態を調査した結果、県内70%、県外30%、また、県内での出荷先は73%がホテル、16%が外食店、11%が店頭販売であり、単価(浜値1,400~1,500円/kg)が高めであるため客単価の高いホテル関係の利用が中心であった。

#### ④ ミーバイ販売促進支援(一部委託)

##### ○販促イベント実施状況

- ・平成24年6月~7月:東京都内庄やチェーン店にて沖縄ミーバイしゃぶしゃぶ販売



庄屋での販売されたミーバイしゃぶしゃぶ

- ・平成24年7月22日:うるま市あやはし館にてミーバイ祭り開催しPR
- ・平成24年8月19日:沖縄市チャンプルー市場にてPRイベント開催
- ・平成24年11月11日:沖縄市チャンプルー市場にてPRイベント開催

- ・平成 24 年 11 月 17～18 日：糸満市全国豊かな海づくり大会関連イベントにて PR



全国豊かな海づくり大会での PR

- ・平成 25 年 2 月 2～3 日：花と食のフェスティバルに出店し沖縄ミーバイの料理販売



花と食のフェスティバルへの出店

- ・平成 25 年 3 月：トップセールス、シーフードショー参加（久米水産、かわまん商店、伊平屋漁協）

○具体的な成果として

- ・計 2,000 人以上の消費者に沖縄ミーバイを提供（有償、無償）した。
- ・花食出展により沖縄ミーバイを来場者（来場者総数 15 万人）に PR した。
- ・メディア PR により新聞等に 7 回掲載された。（協議会設立、あやはし館イベント、海づくり関連記事、沖縄ミーバイ決定、伊平屋漁協生産者、円卓会議、ホテルでの試食会）

- ・展示会出展による商談の発生

⑤ 生産者協議会支援

- ・平成 24 年 6 月 14 日：生産者協議会設立調整、第 1 回協議会にて各生産者の現状報告
- ・平成 24 年 7 月 22 日：第 3 回ミーバイ祭り終了後開催、今年度の販促事業について意見交換（第 2 回協議会）
- ・平成 24 年 9 月 21 日：普及センターにて第 3 回協議会を開催し、産地毎の養殖ミーバイの品質確認（身質、食味）、各生産者の販売状況報告、新規協議会加入申し込み者承認
- ・平成 24 年 11 月 17 日：海づくり大会関連イベント終了後普及センターにて第 4 回協議会を開催し、PR イベントの反省と販促業務の進捗状況報告
- ・平成 24 年 12 月 19 日：伊平屋村で第 5 回協議会開催、養殖ハタ類を沖縄ミーバイとするブランド名を決定及び花食の実施計画検討
- ・平成 25 年 1 月 11 日：水産会館で第 6 回協議会を開催し、沖縄ミーバイのポスターデザインを決定（1 月中の完成を目指す）
- ・平成 25 年 2 月 2 日：花食終了後第 7 回協議会を開催し、協議会新規加入申し込み者承認、イベント初日の売上報告、販促委託業務進捗説明

○具体的な成果として

- ・生産者が集まり機会が格段に増加し、品質向上に対する意識向上、販売面の連携協力、販売促進の協力体制の意識向上が図られた。

3 問題点および今後の課題

- ・沖縄ミーバイの認知度が低いため更なる情報発信、メディア PR の推進
- ・沖縄ミーバイを常時提供する飲食店等の確保
- ・継続した販売促進活動、流通業者等と連携した販路拡大